

100億宣言

TORISUMI

トリスミ集成材株式会社



左上：当社本社工場（奈良県五條市）
右上：構造用集成材（当社製品）
左下：JR二条駅（当社製品の施工事例）
右下：JR熊本駅（当社製品の施工事例）

- 本社所在地：奈良県五條市住川町1297
- 事業概要：各種集成材製造販売、在来工法プレカット、トラス加工、合板加工、ラーメンフレーム工法、建築の設計施工請負、木材の輸入販売
- 常時使用する従業員：78名（2025年3月期）
- 現在の売上高：43億円（2025年3月期）
- 法人番号：1150001021590
- Web：http://www.torisumi.net/

トリスミ集成材株式会社（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
貝本 貴哉

木構造建築の未来をデザインし、 社会の持続的発展をリードする「なくてはならない企業」になる

近年、国全体で建築物の木質化が叫ばれる中、特に特殊集成材を用いた中大規模木造建築分野では、供給体制の不足が課題となっています。私たちは、この課題解決の先駆者となるべく、最新鋭の設備投資と技術革新へ果敢に挑戦し、今後10年で売上高100億円企業へと成長することを宣言します。これにより、日本の豊かな森林資源の活用を促進し、脱炭素社会の実現に貢献するとともに、地域社会と共に発展していくことを目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社が誇る「レゾルシノール樹脂接着剤」を用いた高強度・高耐久な特殊集成材の製造技術と、最新鋭加工設備等の大規模設備実施による圧倒的な供給力を両輪とし、これまで木材利用が困難とされてきた中大規模木造建築分野における『建築物の木質化』を強力に推進します。構造材の供給力不足という業界の課題を解消し、設計の自由度向上、工期短縮、そして環境負荷低減といった顧客価値を提供し、カーボンニュートラルの実現に貢献するとともに、2033年度に売上高100億円を達成します。

課題

- ・中大規模木造建築分野における木質化の潜在需要に対する、供給能力の不足
- ・大断面・長尺集成材の特殊加工に対応できる高度な技術者・技能者の育成
- ・鉄骨構造が主流である大規模建築市場における、木構造の優位性（環境性能、コスト、意匠性等）の認知度向上と普及促進
- ・変動する木材価格に対応しつつ、安定供給とコスト競争力を両立させるサプライチェーンの構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・最新鋭設備群の導入により高強度な特殊集成材の生産能力増強と高精度化
- ・倉庫新設による在庫保有・ピッキング等の新付加価値サービス提供
- ・大手ゼネコン等との連携深化、木質化プロジェクトの企画段階から参画
- ・熟練職人の待遇改善により新規採用を強化し、高度な技術を要する中大規模木造建築の現場施工管理までを一貫して実施
- ・再エネ導入や端材利用高度化で製造時の環境負荷低減、SDGsへ貢献

実施体制

- ・社長直轄による『中大規模木造建築分野の木質化推進プロジェクトチーム』を発足し、営業・設計・製造・施工各部門の連携を強化
- ・高度技術に対応できる人材育成プログラムの導入と、外部専門家との連携による技術力の継続的な向上
- ・需要拡大に応じた段階的な生産拠点・加工能力の増強計画を策定・実行

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標

売上高の推移



当社は、独自の高耐久集成材技術と最先端加工設備への戦略的投資、そして専門職人による施工体制の確立を三本の矢とし、中大規模木造建築市場のリーディングカンパニーを目指します。本計画では、特に「中大規模建築物施工ソリューション」と「中大規模集成材部門」を成長の牽引役と位置づけ、2026年度に実施する大規模投資を起爆剤とします。さらに、2032年度には新工場を建設し、生産キャパシティを抜本的に増強することで、2033年度の売上高100億円達成を確実にします。

本計画は、集成材のサプライヤーとして日本の建築物の木質化を推進し、脱炭素社会の実現に貢献するという当社の強い意志の表れです。